

施策 2 2 2

地域に開かれた学校づくり

主担当部：教育委員会

県民の皆さんとめざす姿

子どもたちの学びと育ちを支えるため、家庭や地域と連携した開かれた学校づくりが進み、学校・家庭・地域が一体となって教育に取り組む社会が形成されています。

現状と課題

- 少子化・高齢化をはじめ、国際化や情報化など、急速に進む社会構造の変化に適応していくためには、学校の組織力を強化し、教育活動の質を高めていくことが必要です。
- 人々の価値観が多様化し、学校に求められている役割や期待が変化してきている中、学校が地域の活力向上の核としての役割を担っていくため、家庭や地域との連携を深めていくことが求められています。
- 学校教育の充実に向け、地域の教育力の活用が求められる中、地域住民等とのパートナーシップを強化し、その知識や技能を積極的に取り入れるための体制づくりを進める必要があります。
- 子どもたちが、郷土の未来と国際社会における自己の生き方を考え、これからの社会をたくましく生き抜くために、郷土愛や郷土への誇りを育むことが求められています。

変革の視点

社会全体で子どもたちを育てるという視点を重視し、学校・家庭・地域が一体となって課題を共有した上で、保護者や住民等による学校運営や教育活動への積極的な参画を進めます。

平成 27 年度末での到達目標

それぞれの地域において、開かれた学校づくりの取組が進められ、家庭や地域と連携した学校運営や教育活動が展開されています。

県民指標

目標項目	現状値	目標値	目標項目の説明
学校関係者評価やコミュニティ・スクールなどに取り組んでいる学校の割合	83.0% (推計値)	100%	学校関係者評価やコミュニティ・スクールなどの地域に開かれた学校経営の仕組みを取り入れている学校の割合

平成 24 年度の取組方向

- ① コミュニティ・スクールや学校関係者評価の導入を図り、保護者や住民等の学校運営や教育活動への参画を促進し、地域との結びつきを深めます。
- ② 地域住民等の知識や技能を活用した学習支援等、地域による学校支援の体制づくりを促進します。
- ③ 三重の良さを実感できる教材「三重の文化」や地域の文化財等を活用した郷土教育を、学校と地域が連携して推進することにより、子どもたちの郷土を愛する心を育むとともに、誇りと自信を持って三重の良さを発信できる人づくりを進めます。

主な事業

- ① (一部新) 地域と協働する学校運営支援事業 (教育委員会)
【基本事業名：22201 地域とともにある学校づくりの推進】
予算額：(23) 14,055千円 → (24) 16,912千円
事業概要：公立学校において、保護者や地域住民等の学校運営や教育活動への参画を進めるため、市町に対するコミュニティ・スクールの導入支援や、県立学校における学校関係者評価の実施義務化に伴う支援を行います。

- ② (新) 地域による学力向上支援事業 (教育委員会)
【基本事業名：22202 地域で支える教育活動の推進】
予算額：(23) ー千円 → (24) 11,626千円
事業概要：子どもたちの学力向上を図るため、大学生や教員経験者等地域住民がその知識・技能を生かし、教科指導の補助を行うなど地域人材を活用する取組を進めます。

- ③ (一部新) 「ふるさと三重」郷土教育推進事業 (教育委員会)
【基本事業名：22202 地域で支える教育活動の推進】
予算額：(23) 1,236千円 → (24) 6,038千円
事業概要：郷土を愛する心を醸成するため、教材「三重の文化」を活用した授業に取り組むほか、郷土の文化財を学べる学習メニューの開発や出前講座の実施、「美し国かるた (仮称)」の作成等により郷土教育を推進します。